

第55回 岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部

日時	2016年6月19日	10:00	女子	決勝
会場名	笠岡市民体育センター			(E)コート

○ 就 実 70	$\left\{ \begin{array}{l} 22 - 7 \\ 13 - 10 \\ 19 - 9 \\ 16 - 21 \end{array} \right\}$	47 倉敷翠松 ●
----------	--	-----------

審判名	主 審	三村力丸	副 審	前花直哉, 阿賀文郁
-----	-----	------	-----	------------

選手名	背番号	得点	3P ^{イン}	2P ^{イン}	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3P ^{イン}	2P ^{イン}	フリースロー	ファウル
塩見 あずさ(C)	4	19	1	6	4		牧野 美保(C)	4	14	4		2	2
田村 幸子	5	2		1		1	西川 日那	5	3		1	1	2
米田 遥菜	6	-					杉本 ひいな	6	16	3	3	1	
青木 翔菜琳	7	22	1	9	1	2	宮本 日陽	7	-				
岡田 七海	8	2		1		1	池田 恵那	8	8	1	1	3	1
池下 侑	9	-					小林 楓	9	2		1		2
青木 南々華	10	-					江川 玲那	10	0				1
那須 愛加	11	20	4	4		1	中濱 知里	11	-				
森 夕佳	12	5		2	1	3	長谷川 彩花	12	-				
平尾 美玖	13	-					高橋 実優	13	-				
吉長 夏生	14	-					江田 千夏	14	0				
平井 日奈子	15	-					福山 怜実	15	-				
岩谷 樹	16	-					中矢 夢乃	16	-				
小坂 幸羽	17	0				1	田中 瑞希	17	-				
井上 玲菜	18	-					清水 美優	18	4		2		5
合 計		70	6	23	6	9	合 計		47	8	8	7	13

戦 評

今年度の決勝も、ここまで順調に勝ち上がってきた就実と、準決勝で粘り強く接戦を制した倉敷翠松との対戦となった。

1Q 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。就実が⑦の得点で先制する。その後も⑦のインサイドプレイ、④の3Pなどで次々と得点していく。残り6分、就実⑩がスティールからレイアップを決め、就実13-0翠松と大きくリードを広げる。翠松は就実の堅いディフェンスを崩せず、外角のシュートを狙うが、リバウンドも取ることができず苦しい展開となる。その後、翠松⑧が3Pを決めたが、就実も⑩が連続3Pを決め、リードをさらに広げる。翠松は⑧や④がドライブから得たフリースローを決めるが、フィールドゴールを決めることができず、就実22-7翠松で1Q終了。

2Q 翠松は3-2ゾーンディフェンスに変更し、チャンスがうかがう。翠松は⑥が3P、鋭いドライブからカウントワンスローを決めるなど、オフェンスのリズムを取り戻し、反撃開始。一方就実もスペースを上手く使い、④や⑦がチャンスを逃さず得点していき、翠松に追い上げを許さない。就実を外角からのシュートを狙うがなかなか決まらず、両チームともディフェンスを頑張った結果、互角の展開となり就実35-17翠松で2Q終了。

3Q 翠松は⑥の得点で後半開始。対する就実⑩が連続3Pを決め、翠松を突き放す。就実⑩は速いパス回しでチャンスをうかがい、④、⑩、⑫らが得点を決め、残り2分で就実54-21翠松と大きくリードを奪う。翠松はドライブを中心に攻撃を組み立てるが、就実の堅い守りに苦しい体勢のシュートが続き、決め手を欠いてしまう。その後、翠松は⑥の3P、⑩のゴール下が決まり追い上げるが、就実54-26翠松とリードがさらに広がり、3Q終了。

4Q 翠松はマンツーマンディフェンスに戻して反撃の機会がうかがうが、就実⑦がチャンスを逃さず連続得点し、リードをさらに広げる。残り7分、翠松はタイムアウトの後、オールコートで就実にプレッシャーをかける。直後、翠松⑥が3Pを決めてオフェンスが勢いづく。その後、ゲームは速い展開で点の取り合いとなり、翠松の激しいディフェンスにも落ち着いたボール運びをした就実⑦を中心に得点を重ねる。一方翠松④は4Qで4本の3Pを決める活躍で、最後まで粘りを見せたが及ばず、前月の中国大会も制した就実が危なげない展開で試合を制し、3年連続42回目の優勝を飾った。